

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/11/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

売買交錯で高値ボックスに

NY原油先物相場は、1バレル=80~85ドルをコアに最近の取引レンジを踏襲する展開になった。10月25日の85.41ドルで上げ一服となっているが、80ドル水準では値ごろ買いが下値を支える展開が維持されている。ボラティリティが高い展開が続いているが、明確な方向性を打ち出せていない。

米政府が渡航禁止制限の条件付き緩和を打ち出したことで、ジェット燃料需要の回復期待から11月10日高値は84.97ドルに達した。新型コロナウイルスのワクチン接種、陰性証明を条件に、渡航制限が大幅に緩和されることになる。航空各社は欧州便などを中心に予約件数の急増を報告しており、需要環境の正常化が更に進むとの期待感が強まった。しかし、その後は石油輸出国機構 (OPEC) が世界石油需要見通しを引き下げたこと、バイデン政権が石油価格鎮静化策を近く発表するとの見方、ドル高などに上値を抑えられ、週末にかけては80ドル台まで軟化した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (11月5日時点) は、原油が前週比100万バレル増、ガソリンが156万バレル減、石油精製品が261万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫で下値堅いが、バイデン米政権の対応見極め

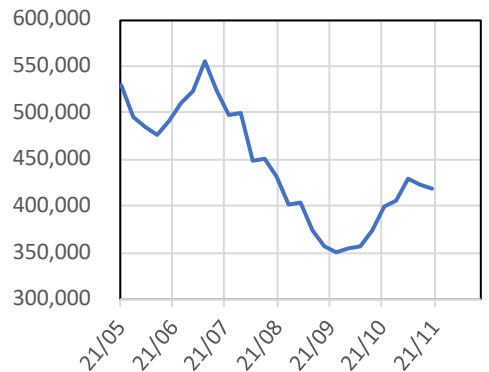
バイデン米政権の原油高対策の見極めが要求され、大きく動きづらい。マクロな需給タイト感から80ドル水準では買い支えられ易い一方、85ドル水準では利食い売りが促され易く、高ボラティティ環境も明確なトレンドは打ち出しづらい。

11月4日のOPECプラス会合で大規模な増産対応が見送られたことを受けて、バイデン大統領は独自の石油価格鎮静化策を検討している。戦略石油備蓄（SPR）放出、米国産原油の禁輸措置など複数の案が報じられているが、どのような内容の対策案がどのようなタイミングで発表されるのか分からない状態にある。中長期的に価格を鎮静化させる手段は乏しいとみられているが、仮にSPRの大規模放出などが決定されると、短期的に急落するリスクを抱えている。こうした不透明感が解消されるまでは、85ドル水準では利食い売りが膨らみ易い。

OPECは11月11日に発表した最新の月報で、2021年と22年の世界石油需要見通しをそれぞれ日量16万バレル引き下げた。中国とインドの需要が想定を下回っていることに加えて、価格高騰の影響を指摘している。ただ、16日には国際エネルギー機関（IEA）月報も公表されるため、そこで改めて需給ひっ迫見通しに対する信頼感が高まると、地合が引き締まる。

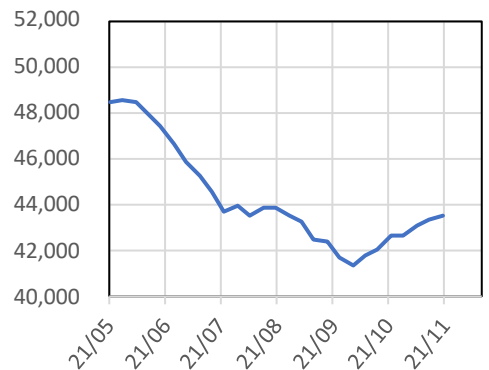
欧州や中国などの一部では、新型コロナウイルスの感染被害が拡大している。ロックダウン導入の報告もあり、改めてパンデミックによる需要不安の織り込みがみられると、下値不安が強まる。ドル高が続いた際にも、地合が悪化し易い。一方、北半球では冬型の気象環境になっており、寒波による暖房用エネルギー需要の拡大期待が強まると、逆に底固さが再確認される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



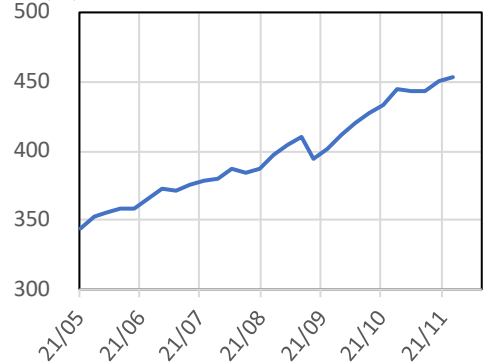
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

